

青森市匠の職人（平成30年度受賞）

石戸谷 将史（手かじ）鍛造（工）

いしとや

のぶひと

どんな要望も形にしたい



問い合わせ先 鉄工房 アール
〒030-0957
青森市蛭沢4丁目10番15号
TEL 017-744-1558

取材レポート

国内では珍しい鍛冶技法「ロートアイアン」の職人として親子二代で活躍する石戸谷さん。学生の頃は、ロートアイアンに興味がなく、親父の仕事の手伝いをすれば工房を自由に使えたので、大好きなバイクいじりがタダでできるのが魅力だった。と話します。

しかし、何度か手伝ううちにものづくりの楽しさにのめり込み、高校卒業後には本格的に職人としての人生をスタートします。

初めての作品は、亡くなったお母様のために作った燭台。生前好きだったカサブランカをモチーフにしました。今でも思い入れがあると言います。この作品は、花や葉の細部まで精巧に再現されており、当時から優れた技術を持っていたことが伺えます。

教科書やサンプルがないため、数えきれない挑戦と失敗を重ねながら独学で高い技能を得てきており、どんな要望も基本的に断らないこと」をモットーに「見難いと感じる注文も引き受け、試行錯誤を重ねながら、お客様の納得のいく形に作り上げていく過程がとても楽しく、満足のいく作品が完成したときの達成感は何にも代えがたい。」と言います。

全てがオリジナル作品であり、比較対象となるものがないため、手抜きをしようと思えばいくらでもできるものの、だからこそ絶対に妥協したくない。」と話し、見た目の美しさだけではなく、実際に触ってもケガをしないように仕上げにも細心の注意を払っています。

次の目標を尋ねると「鉄で立体的な絵を作りたい。」と話した後、すくなく「他にもやってみたいことがたくさんあります。決めて決められない。」と笑う石戸谷さん。

進化を続ける匠の技が、誰も見たことのない作品をこれからも創り出します。



カサブランカの花をあしらった燭台



鉄を鍛え完成させたバラの花